

高島市マキノ小学校開校準備協議会 第5回会議次第

日時 令和7年6月18日（水）

午後7時から

場所 マキノ土に学ぶ里研修センター
（2階 集会室）

1 開 会

2 協議事項等

(1) 委員の交代について

資料1

(2) 第4回会議の振返りについて

資料2

(3) 新小学校の校名について

資料3

別冊資料

(4) 新小学校の施設整備について

資料4

資料5

(5) 各部会の取組みについて

資料6

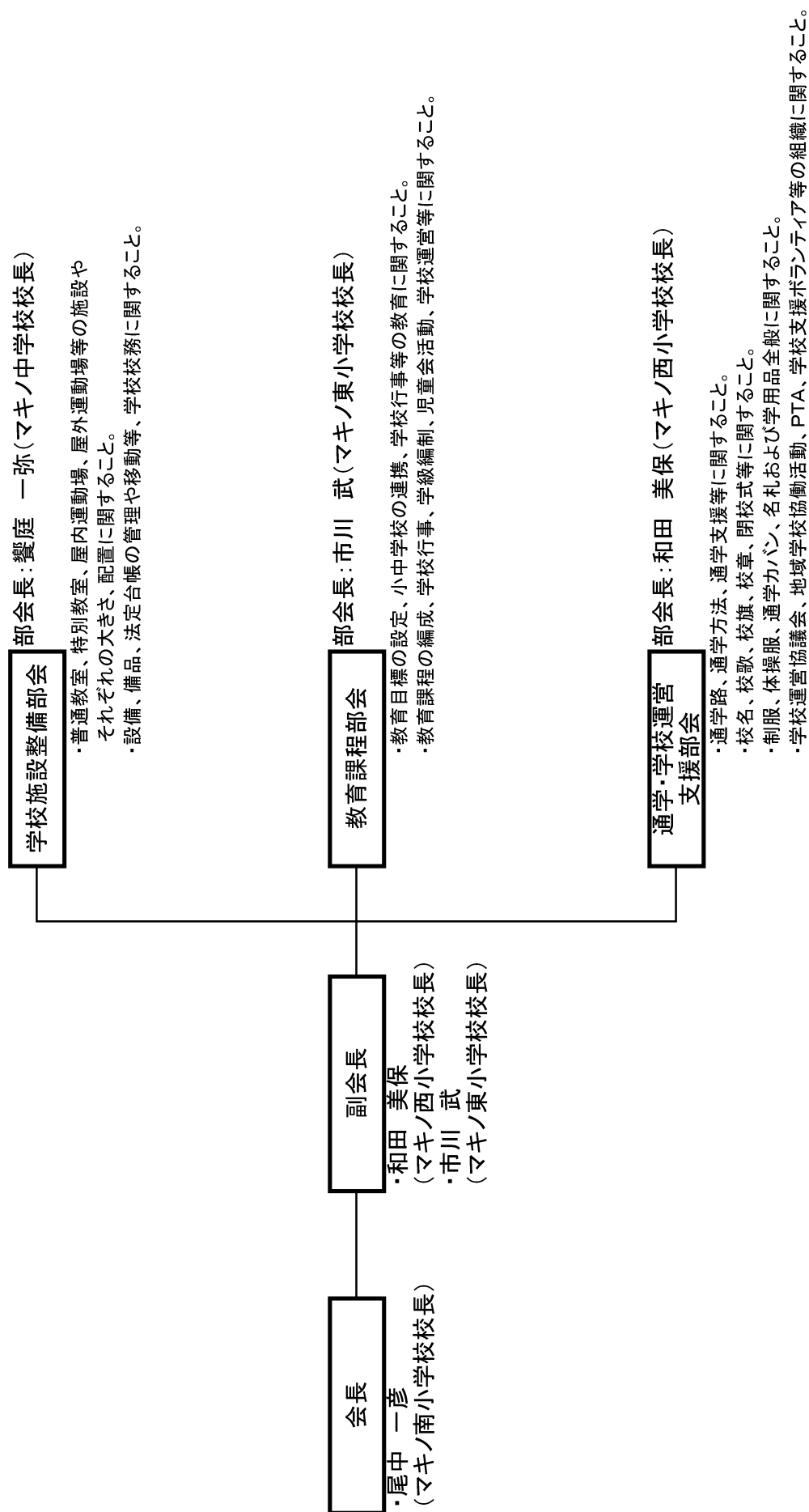
3 その他

- ・第6回会議の日程について 令和7年 月 日（ ） 時から
- ・先進地視察研修の実施について

4 閉 会

区分	氏名 (R6)	氏名 (R7)	所属・役職等	部会員		
				学校施設 整備部会	教育課程 部会	通学・ 学校運営 支援部会
1号 小学校の校長および教頭	大江 大	市川 武	マキノ東小学校 校長	◎	◎	
1号 小学校の校長および教頭	和田 美保	和田 美保	マキノ西小学校 校長			◎
1号 小学校の校長および教頭	尾中 一彦	尾中 一彦	マキノ南小学校 校長			○
1号 小学校の校長および教頭	海東 貴利	海東 貴利	マキノ東小学校 教頭			○
1号 小学校の校長および教頭	市川 武	佐保田 佳子	マキノ西小学校 教頭		○	
1号 小学校の校長および教頭	石畝 千登勢	小林 里美	マキノ南小学校 教頭		○	
2号 マキノ中学校の校長および教頭	清水 佳治	饗庭 一弥	マキノ中学校 校長	◎	◎	
2号 マキノ中学校の校長および教頭	谷口 あかね	谷口 あかね	マキノ中学校 教頭	○		
3号 小学校の教職員を代表する者	水口 由美	水口 由美	マキノ東小学校		○	
3号 小学校の教職員を代表する者	領家 剛	領家 剛	マキノ西小学校			○
3号 小学校の教職員を代表する者	上田 文	上田 文	マキノ南小学校	○		
4号 小学校の保護者を代表する者	川田 直昭	荻田 翼	マキノ東小学校	○		
4号 小学校の保護者を代表する者	垣貫 宏貴	垣貫 宏貴	マキノ西小学校	○		
4号 小学校の保護者を代表する者	鳥居 優	西澤 喬之	マキノ南小学校	○		
5号 マキノ東こども園およびマキノ西こども園の保護者を代表する者	川田 江梨子	沢原 かや	マキノ東こども園保護者会 会長	○		
5号 マキノ東こども園およびマキノ西こども園の保護者を代表する者	山川 雅史	(垣貫 宏貴)	マキノ西こども園保護者会 会長	○		
6号 区長自治会長および住民自治協議会を代表する者	谷口 浩志	谷口 浩志	マキノまちづくり協議会 会長			○
6号 区長自治会長および住民自治協議会を代表する者	西辻 忠雄	西辻 忠雄	マキノ地域区長等連絡会 会長			○
7号 小学校の学校運営協議会を代表する者	谷口 哲也	谷口 哲也	マキノ東小学校		○	
7号 小学校の学校運営協議会を代表する者	野崎 正明	野崎 正明	マキノ西小学校		○	
7号 小学校の学校運営協議会を代表する者	岡本 重和	岡本 重和	マキノ南小学校		○	
8号 地域学校協働活動推進員	谷口 良一	谷口 良一				○
9号 その他教育委員会が必要と認める者	池田 正和	池田 正和	マキノ支所長			○
9号 その他教育委員会が必要と認める者	山本 永子	山本 永子	高島市図書館協議会委員	○		

○高島市マキノ小学校開校準備協議会 組織図(R7)



高島市マキノ小学校開校準備協議会 学校施設整備部会

区分		氏名	所属・役職等
2号	マキノ中学校の校長および教頭	饗庭 一弥	マキノ中学校 校長
2号	マキノ中学校の校長および教頭	谷口 あかね	マキノ中学校 教頭
3号	小学校の教職員を代表する者	上田 文	マキノ南小学校
4号	小学校の保護者を代表する者	荻田 翼	マキノ東小学校
4号	小学校の保護者を代表する者	垣貫 宏貴	マキノ西小学校
4号	小学校の保護者を代表する者	西澤 喬之	マキノ南小学校
5号	マキノ東こども園およびマキノ西こども園の保護者を代表する者	川田 江梨子	マキノ東こども園保護者会 会長
5号	マキノ東こども園およびマキノ西こども園の保護者を代表する者	(垣貫 宏貴)	マキノ西こども園保護者会 会長
9号	その他教育委員会が必要と認める者	山本 永子	高島市図書館協議会委員
第7条第5項	外部委員	白石 剛	高島市文化協会 マキノ支部
	外部委員	平松 成美	絵本による街づくりの会 会長
	外部委員	北川 佐衣子	マキノ南小学校 事務職員
	外部委員	峯浦 翔一	マキノ中学校 事務職員

高島市マキノ小学校開校準備協議会 教育課程部会

区分		氏名	所属・役職等
1号	小学校の校長および教頭	市川 武	マキノ東小学校 校長
1号	小学校の校長および教頭	佐保田 佳子	マキノ西小学校 教頭
1号	小学校の校長および教頭	小林 里美	マキノ南小学校 教頭
3号	小学校の教職員を代表する者	水口 由美	マキノ東小学校
7号	小学校の学校運営協議会を代表する者	谷口 哲也	マキノ東小学校
7号	小学校の学校運営協議会を代表する者	野崎 正明	マキノ西小学校
7号	小学校の学校運営協議会を代表する者	岡本 重和	マキノ南小学校

高島市マキノ小学校開校準備協議会 通学・学校運営支援部会

区分		氏名	所属・役職等
1号	小学校の校長および教頭	和田 美保	マキノ西小学校 校長
1号	小学校の校長および教頭	尾中 一彦	マキノ南小学校 校長
1号	小学校の校長および教頭	海東 貴利	マキノ東小学校 教頭
3号	小学校の教職員を代表する者	領家 剛	マキノ西小学校
6号	区長自治会長および住民自治協議会を代表する者	谷口 浩志	マキノまちづくり協議会 会長
6号	区長自治会長および住民自治協議会を代表する者	西辻 忠雄	マキノ地域区長等連絡会 会長
8号	地域学校協働活動推進員	谷口 良一	地域学校協働活動推進員
9号	その他教育委員会が必要と認める者	池田 正和	マキノ支所長

第4回高島市マキノ小学校開校準備協議会 会議録（要旨）

- 1 開催日時 令和7年3月17日（月）
開会 午後7時00分 閉会 午後8時00分
- 2 開催場所 マキノ土に学ぶ里研修センター2階 集会室
- 3 会議次第
 - (1) 開会
 - (2) 協議事項等
 - ①第3回会議の振返りについて
 - ②開校準備協議会だより（第3号）について
 - ③新小学校の校名について
 - ④新小学校の施設整備について
 - ⑤各部会の取組みについて
 - ⑥委員の交代による引継について
 - (3) その他
 - ・第5回会議の日程について
 - (4) 閉会
- 4 出席委員 20名（欠席者4名）
- 5 事務局出席者
饗庭教育総務部長、饗庭教育指導部長、平井教育総務部次長（教育総務課長取扱）、川原林学校教育課長、保木学事施設課長、林教育総務課参事、宮川学事施設課主任、藤本教育総務課主事
- 6 会議を傍聴した者 5名
- 7 次第の経過 裏面のとおり

次第の経過

(1) 開会

①会長あいさつ

(2) 協議事項等

①第3回会議の振返りについて

資料1（1，2ページ）会議録（要旨）により協議事項等を報告する。

②開校準備協議会だより（第3号）について

資料2（3，4ページ）により報告する。

③新小学校の校名について

【説 明】 和田委員（通学・学校運営支援部会長）、饗庭教育総務部長

資料により説明。3月10日に開催された通学・学校運営支援部会で、事務局から説明があった新小学校の校名募集要領（案）について、部会で協議を行う。その結果、令和7年4月1日から30日までを募集期間とすること、応募資格はマキノ地域の住民、通園通学する児童生徒および保護者、学校関係者とすること、応募方法は、専用サイトからの応募フォームまたは応募用紙によること、などを部会として決定した。

部会で決定した新小学校名募集要領（案）について協議会に諮り承認される。3月下旬に協議会だより号外を発行し、4月1日にホームページで公開する。

【質疑等】

なし

④新小学校の施設整備について

【説 明】 大江委員（学校施設整備部会長）、饗庭教育指導部長

当日配付資料により説明。3月17日に開催された学校施設整備部会で、これまでに委員から寄せられた新小学校の施設整備に関する意見に対し、通学経路、特別教室、校務センター等エリアごとに集約した結果について事務局から説明があった。

【質疑等】

なし

⑤各部会の取組みについて

【説 明】 饗庭教育総務部長

協議会までに開催された部会会議についての協議結果や予定を報告する。

学校施設整備部会…3月13日（木）19時から マキノ東小学校にて第1回会議開催

次回開催は未定

教育課程部会 …現時点で開催予定無し

通学・学校運営支援部会…3月10日（月）10時から マキノ支所にて第1回会議開催

次回開催は5月下旬を予定

【質疑等】

なし

⑥委員の交代による引継について

【説 明】 饗庭教育総務部長

新年度が始まるにあたり、委員が交代される場合は報告書を提出することを、こども園長、学校長、支所長に依頼。なお、前任者である委員は、後任者にこれまでの資料をファイルごと引渡し、引継ぎをお願いしたい旨依頼する。

(3) その他

- ・第5回会議の日程について 5月下旬以降の予定

(4) 閉会

新小学校の校名候補の選定手順について

1 校名候補の選定方法

- (1) 応募結果を踏まえて「基本的な校名の基準」をもとに、「通学・学校運営支援部会」で校名候補（1点または数点）を絞り込み、開校準備協議会において校名案を決定する。
- (2) 必ずしも、応募数が多い校名案を候補として決定するものではない。
- (3) 決定された校名候補については、「協議会だより」や市のホームページでお知らせする予定です。

基本的な校名の基準（考え方）

- ① 新しい学校をつくることから、現小学校と同じ校名は使用しない。
- ② 校名案の理由が明確である。
- ③ 他に同じ校名を有する小学校がない。
- ④ 校名から地理的なイメージがしやすい。
- ⑤ 漢字、ひらがな、カタカナで表記され、読み書きが容易である。
- ⑥ 児童にとって親しみやすい。
- ⑦ 児童、生徒、保護者、地域住民から賛同が得られる。
- ⑧ 地域の自然、文化、歴史等に合致する。
- ⑨ 市内他の小学校および中学校の校名と著しくバランスを欠かない。

2 校名候補の応募結果

マキノ地域にお住まいの方等を対象に、令和7年4月1日（火）から同年4月30日（水）までの期間において募集したところ、42名の方から応募があり、27の校名候補が寄せられた。

応募結果等は別冊のとおり

3 通学・学校運営支援部会での校名候補の選定方法

部会で協議した結果、27の校名候補について、基本的な校名の基準（考え方）に適合しているかを精査し、基準に適合したものの中から、次の③の方法をもって部会で数点選定することとした。

- ①基本的な校名の基準をもとに、部会員で意見交換を行う。
- ②部会員それぞれが良いと思う名称・理由を一覧表の中から上位3つ選び、事務局が用意した用紙に記入し、事務局に提出する。
- ③1位を3点、2位を2点、3位を1点として集計し、合計点数の高い名称の中から、数点校名候補として選定する。

4 校名候補の選定結果

当日の出席委員数 7名（1名欠席）

選定結果 第一位 （高島市立）マキノ小学校

第二位 （高島市立）シンマキノ小学校

（高島市立）マキノ小学校 （合計点数21点）

- 選定理由
- ・小中一貫教育をすすめる上で呼びやすく分かりやすい。
 - ・地域にとって歴史や文化を受け継ぐ名称。なじみがあるし誰にでも受け入れられる。
 - ・これしかない。地域の総称。なじみがある。特定地域をイメージさせない。
 - ・4つの小学校を引き継ぐということ。隣にマキノ中学校があること。アンケートでも一番多いこと。特定の場所をイメージさせないこと。基準からしても広く賛同されると思います。
 - ・地域全体の小学校。地域全体が支える小学校となっほしい。
 - ・地域とともにある学校にしたいので。マキノという地名は残してほしい。どこの地区かわかりやすいのでマキノ小学校がよい。
 - ・この名称に反対する人がいることが想像できない。他の名称にした時には、想像以上の反対が予想される。

（高島市立）シンマキノ小学校（合計点数 2点）

- 選定理由
- ・「シン」があることで「シン」に込めた意味や思いをもって学校だけでなく地域の方々にも学校教育や子育てに関わっていただけることにつながるから。

準備協議会における校名案決定手順（案）について

校名案の決定手順（案）

通学・学校運営支援部会で選定された校名候補の中から、準備協議会により下記２案を参考に選定手順を定めた後、校名案１点を決定する。

（案１） 校名候補の中から良いと思う名称を、委員の無記名投票により決定する。
得票数についても教育委員会へ報告する。

（案２） 校名候補の中から良いと思う名称を、委員の多数決により決定する。得票数についても教育委員会へ報告する。

（案３） その他

※上記はあくまでも例示であり、委員の意見により修正は可能とする。

新小学校の目指す方向性と校舎の新築について

Ⅰ. 新小学校の目指す方向性について

(1) 一定の集団規模を確保して児童の教育環境を整える。

学校教育においては、児童生徒が集団の中で多様な考えに触れ、お互いに認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて、一人ひとりの資質や能力を伸ばしていくことが重要であり、小学校では、一定の集団規模が確保されていることが望まれます。

今後、さらに小規模化が予測される3小学校を1校に統合し、一定の集団規模を確保することにより、子どもたちにとってよりよい教育環境を整えるとともに、活力ある教育活動を展開します。

(2) マキノ地域における地域と学校をつなぐ拠点として、誇りや愛着を持てる学校づくりを進める。

マキノは、マキノ中学校の校歌にある、大崎（東小）、乗鞍（北小）、牧野の原（西小）、百瀬川（南小）のように、豊かな自然や歴史、伝統が残っています。

これまでマキノ地域では、地域とともにある学校づくりに向け、地域学校協働本部が中心となり、3小学校および1中学校において、地域の方々のご協力をいただきながら、学校と地域を結ぶ教育活動が展開されてきました。

中学校と隣接する位置に新小学校を新築することにより、マキノ地域における地域と学校をつなぐ拠点として、これまで学校で取り組まれてきた教育活動を大切にしながら、子どもたちにとって、誇りや愛着を持てる学校づくりに努めます。

(3) 小中一貫教育のさらなる充実を図る。

本市では、全ての中学校において、15年前（平成22年）から中学校区独自の小中一貫教育を推進し、9年間の学びの連続性を大切にしながら、知・徳・体の育成を図っています。

マキノの新小学校においても、これまでのマキノ中学校区における小中一貫教育の取組を継承し、既に小中が隣接している中で小中一貫教育を推進してきた高島学園の実践を参考にしながら、さらなる小中一貫教育の充実を図っていきます。

2. 新小学校の校舎を新築とする理由について

(1) 安全で安心な学習環境の確保

バリアフリー化や最新の耐震・防災性能、空調・給排水設備など、児童が安全で快適に学べる環境の整備が必要です。既存の老朽校舎の改修では限界があります。

(2) 教育活動への影響を最小限に

既存校舎を改修する場合、夏休み期間中だけでの工事完了は困難です。

また、通年での工事の際は騒音が発生すること、グラウンドに仮設校舎を建設しての授業となることから、児童の学習環境や学校生活上の動線に大きな支障が生じます。

(3) 通学手段とバス対応

再編・統合により通学範囲が広域化し、バス通学の検討が必要になりますが、既存の3小学校ではバスの乗降場所や駐車場の確保が困難で、安全面に課題があります。

中学校の敷地内に新築する場合は、近隣の土に学ぶ里研修センター入口付近の遊休土地を活用でき、十分な通学バス対応のスペースを当初から整備することが可能です。

また、中学校の立地場所はマキノ地域の概ね中央にあり、中学校の敷地内に新築することで、通学時間の長さが一部の地域で偏る事態が避けられます。

(4) 教育の質と将来の地域の拠点づくり

小中学校が同じ敷地内にあることで、教職員間の連携が進み、施設隣接型の小中一貫として教育体制のさらなる強化が期待できます。

学校施設は、単に「教育の場」だけではなく、地域の学びと交流の拠点としての役割も期待されており、新築の場合は、地域交流（地域イベント）・防災拠点・子育て支援（屋外広場）への活用を視野に入れた整備の検討も可能です。

(5) 財政的にも合理的な選択

新築の場合は、国の有利な補助金制度が適用され、長期的に見て費用対効果の高い整備が可能です。改修の場合は、補助率が低いことや補助の範囲が限られることや、次の改修までの期間が新築に比べ短くなるため、長期的にはトータルコストが高額となる可能性があります。

また、隣接するマキノ中学校の校舎の一部を改修し、小学校の特別教室（理科室、家庭科室）として使用することも検討中であり、中学校校舎の一部を活用することで、小中の教育施設の効率的で有効な活用が図れます。

なお、新築と3小学校の改修費用の比較では、工事費用、工事中の仮設校舎費、バス通学を想定した通路や乗降場所の確保の費用のほか、国の有利な補助金制度の活用を含めると、市の実質負担額は、新築費用と改修費用とでは大きく変わらない結果となりました。

学校施設整備部会における今後の協議について

市では今後、(仮称) マキノ小学校の校舎新築工事にかかる設計業務委託の発注を予定しており、受託業者との契約後、打合せを重ねながら進めていくことになります。

その過程で、学校施設整備部会員 9 名と外部委員 4 名の計 13 名以外に新たに数名の外部委員に参加いただき、ご意見やご要望などをお聞きする場を設けさせていただきたいと考えております。

その人選やご意見等をお聞きする部会の開催スケジュールにつきましては、あらためてお知らせしますので、ご協力をお願いいたします。

(開校準備協議会設置要綱第 7 条より抜粋)

部会長は、必要があると認めるときは、会議に部会員以外の者の出席を要請し、意見もしくは説明を聞き、または資料の提出を求めることができる。

各部会の取組みについて

1 学校施設整備部会

【会議の開催状況】

未開催

【協議事項および内容】

なし

【協議結果】

なし

【会議予定】

未定

【その他】

なし

2 教育課程部会

【会議の開催状況】

未開催

【協議事項および内容】

なし

【協議結果】

なし

【会議予定】

未定

【その他】

なし

3 通学・学校運営支援部会

【会議の開催状況】

第2回会議

5月23日（金）午前10時～ マキノ支所会議室

【協議事項および内容】

- ・新小学校の校名候補について

【協議結果】

校名募集要領をもとに協議し、校名候補2点を決定した。また、結果を次回開催の開校準備協議会に提出することとした。

【会議予定】

未定

【その他】

各校長同士では、令和8年度から体操服を統一するなど、できることから順次調整を進めている、と報告があった。